

## 高雄中学校　学校評価について

7月にはお忙しい中、「学校評価」アンケートにご協力いただきありがとうございました。集計結果について報告させていただきます。アンケートは、保護者・生徒・教職員の三者からとりましたが、素データにつきましては紙面の都合上、保護者アンケートのデータのみ示しています（裏面）。考察につきましては、保護者アンケート、生徒アンケート、教職員アンケートから、読み取れることについて、まとめました。

### 集計結果からわかったこと・課題　と　対策・方針

- ・学校や教職員に対する信頼関係が少しずつ築けてきている。これからも大切にしていく。
- ・学習面で、保護者・生徒・教職員ともに家庭学習の定着が必要だと考えている。計画的な取組が必要。  
(自主学習用プリントの常備と持ち帰り、各教科で調整した定期的な宿題と点検、置き勉の禁止など)
- ・「学校は安全対策をとっている」のニーズ度がやや高い。  
(ニーズ度とは、質問項目の重要度・実現度から、  
これからの取組がどのくらい必要かを表したものです。計算式は裏面中央に記載しました。)

### 職員会議（学校評価の自己評価）で出た意見・対策・方針

- ・「わかりやすい授業」のために、全教科教員で授業内容の充実、授業改善を行う。
- ・生徒アンケートでは、「正しい言葉遣いをしている」「自分から進んで挨拶をしている」と回答している者が多いが、生徒会で挨拶運動をしているにもかかわらず、本当に正しくきれいな言葉で気持ちよく挨拶ができる生徒は、まだ多いとは言えない。
- ・生徒の人数が少ないので、教員が生徒を過保護・過干渉していないか心配。
- ・学力面をもっと伸ばすために、基礎的基本的な課題はもとより、発展的な課題を与えることも必要なのではないか。
- ・学力・体力だけでなく、社会に出ていくために必要な力をつけさせたい。（忍耐力・協調性・計画性など）
- ・通学路は工事が終了して安全が確保できるまで、複数の目で登校を見守り続ける。

学校では今回のアンケート結果から明らかになった課題に今年度中に取り組み、改善をはかっていきます。お気づきの点がございましたら、遠慮なくいつでも学校にご連絡をお願い致します。　（学校長）

| 保護者アンケートより |                                                  |              |
|------------|--------------------------------------------------|--------------|
|            | 質問項目                                             | 重要度 実現度 ニーズ度 |
| 1          | 学校の教育方針や教育活動等の情報が、各たよりや学校ホームページ等でわかる。            | 6 5.2 16.8   |
| 2          | 学校の様子や連絡が、子どもたちを通して、家庭に正しく伝わっている。                | 6.4 5 19.2   |
| 3          | 子どもたちは楽しく学校へ通っている。                               | 6.8 5.4 17.7 |
| 4          | 学校は不審者や災害、通学路等に対して、安全対策を行っている。                   | 6.8 4.5 23.8 |
| 5          | 学校では、美化活動や校内の整理整頓が心がけられている。                      | 6.5 5.1 18.9 |
| 6          | 子どもは、授業がわかりやすいと言っている。                            | 6.9 4.5 24.2 |
| 7          | 子どもは、意欲的に授業に取り組んでいる。                             | 6.4 4.5 22.4 |
| 8          | 子ども一人一人が大切にされた授業が行われている。                         | 6.5 4.3 24.1 |
| 9          | 子どもには、学校で学習してきたことが身についてきている。                     | 6.3 3.9 25.8 |
| 10         | 子どもは、家庭で自主的に学習をするようになってきた。                       | 6.6 4.1 25.7 |
| 11         | 学校は、生徒の学力を適切に評価している。                             | 6.7 4.9 20.8 |
| 12         | 学校は、生徒の学習面での努力を適切に評価している。                        | 6.8 4.9 21.1 |
| 13         | 観点別評価や評定は、学習目標がどのくらい達成できているかを表しているものであることがわかる。   | 6.6 5 19.8   |
| 14         | 学校は子どものよいところを認め、適切に評価している。                       | 6.7 5.3 18.1 |
| 15         | 学校は子どもの間違った行動を適切に注意している。                         | 6.7 5.1 19.4 |
| 16         | 学校は学校生活のきまりや約束を守るように指導している。                      | 6.6 5.4 17.2 |
| 17         | 学校は、親身になって子どもの相談に応じている。                          | 6.3 5.1 18.3 |
| 18         | 学校は、親身になって保護者の相談に適切に対応し、相互の信頼関係づくりに向け努力している。     | 6.6 5 19.8   |
| 19         | 子どもは、学級やフレンドリー活動を通して、信頼関係や役割分担の大切さなど社会性が身についてきた。 | 6.5 5.1 18.9 |
| 20         | 子どもは、挨拶や正しい言葉遣いが身についてきている。                       | 6.7 5 20.1   |
| 21         | 家庭は子育ての役割を果たし、学校に協力している。                         | 6.5 5 19.5   |
| 22         | 学校・家庭・地域が協働し、子どもたちの教育にあたっている。                    | 6.5 4.4 23.4 |

重要度・実現度は、四択の(とても、やや、あまり、ない)を(7・5・3・1)で数値化し、平均値を求めたものが上の表です。

$$\text{ニーズ度} = \text{重要度} \times (8 - \text{実現度}) \quad \text{の式で算出}$$

重要なに、実現できていないものほど、ニーズ度の数値が大きくなる。（最大値は49）

実現できている場合は、実現度の数値が高くなるので、ニーズ度の数値が小さくなる。

次のグラフで、ニーズ度の青色の棒グラフが高いほど取組の必要性がある（ニーズ度が高い）ということになる。

